

市民による環境政策研究への支援 ～千里リサイクルプラザ主担研究員・評議員として～

行政と市民が協力して取り組む、環境に関する研究や啓発活動に対して、積極的に
関与しながらサポートしています。



小学校での草木染めの出前講座

活動の概要

目的	市の環境に対する意識の啓発
連携メンバー および役割	公益財団法人 千里リサイクルプラザ・・・市民研究員の事務的サポート 千里リサイクルプラザ市民研究員・・・環境に関する研究活動および啓発活動の実施 関西大学外国語学部教授 内田慶市・・・市民研究員との協働と助言
活動地域	大阪府吹田市
活動期間	2009年7月～（継続中）

連携の経緯

本活動の主要メンバーの一人である内田は2008年まで吹田市教育委員長を務めていた。任期終了後、吹田市より改めて依頼があり、千里リサイクルプラザ主担研究員・評議員に就任することとなった。

解決すべき課題

- (1) 市民研究員の自主的活動への高度な支援



環境市民講座の様子

大学の役割

千里リサイクルプラザでは、市民研究員が構成メンバーとなって活動を行う複数のプロジェクトチームを設置しており、内田は主担研究員・評議員として、研究活動および啓発活動に関与している。

まず、市民研究員は研究活動の検討と報告のため、プロジェクトチーム定例会（週1回）と全プロジェクトチームの代表者会議（月1回）を実施しており、内田はそこで各種助言等を行う。また、不定期ではあるが、専門分野を活かし、セミナーを開催するほか、キャンパスと北京をテレビ会議システムで繋ぎ、北京におけるエコ活動の報告会を主催することもあった。

また、研究成果を活かした啓発活動では、小学校における「総合的な学習の時間」に市民研究員が出向き、草履作り、草木染め、紙すきなどの出前講座を実施したり、布のリユース・リサイクルのフォーラムなどを実施。内田はそこにも参加し、活動のサポートや児童とのふれあいを行っている。

このように、あくまで市民主体の活動の側面サポートによって、市民の自主的な環境意識向上を促進している。

成果

- (1) 複数の啓発活動の実現による市民の環境に関する意識向上

今後の展望

- (1) 活動の継続と発展



小学校でのマイパネルの出前講座

研究者の紹介



外国語学部 教授
内田 慶市
(うちだ けいいち)

元々中国語学を専門とするが、この10年来は新しい学問体系の文化交渉学の確立を目指して奮闘中。特に近代の東西言語文化接触の研究を主要テーマとしている。中国近世語学会会長、東アジア文化交渉学会副会長、日本中国語検定協会理事等を務めるほか、吹田市教育委員等も歴任。博士（文学・文化交渉学）。